



笹山小学校 学校だより

平成29年 2月28日発行
平成28年度 第11号

新たな旅立ちに向けて

学校長 三瓶 徹

穏やかな日ざしに、春を感じる日も少しずつ増えてきました。3月を迎え、いよいよ平成28年度もしめくくる時期となりました。

春は、すべての植物が冬のねむりから覚める季節です。日本には「芽ぐむ」「芽だつ」「芽吹く」などの樹木の成長を表す言葉があります。

ところで、「芽」という漢字は「くさかんむり」に「牙」を組み合わせています。植物の芽の出た様子が、小さな牙に似ているところから、二つを組み合わせて、「芽」という漢字ができたと聞いたことがあります。学校のまわりの木々の芽を見ていると、なるほどと思いました。

どの植物でも芽生えたときから、成長したときの形が決まっています。しかし、人はそれぞれ一人ひとり違います。そして、一人ひとり成長も違ってきます。その違いを認め合って、仲良く、共に育っていくことが大切だと思います。

この1年、子どもたちは大きく成長してきました。6年生はまもなく卒業し、他の学年は進級します。晴れの日、雨の日、暑い日、寒い日を経て、今新たな芽が開こうとしています。それぞれに自分の道を切り開きながら、これからも力強く成長してくれることを願っています。

春は、確実にそこまでやってきています。どんな春か、自分の感性を十分にはたらかせて見つけてください。季節季節のすばらしい自然に満ち溢れたこの笹山の地域で、自分から積極的に春探しに出て、そして感性豊かな自分の芽の成長に生かしてほしいと思います。そして、地域のみなさまや保護者のみなさまとともに、大地にしっかりと根をはり、丈夫な幹となる、若き芽を育てていきたいと思います。

3月17日(金)は、笹山小学校第43回卒業証書授与式です。今年は24名の6年生が、夢と希望をもって本校を巣立ちます。自分の持ち味を生かし、めざす目標に向けて精一杯努力し、社会に役立つ有為な人材として成長してくれることを期待しています。保護者のみなさまはもとより、地域のみなさまからも温かい励ましのお声かけをいただければ幸いです。よろしくお願ひ申し上げます。